

高等学校 令和5年度（1学年用） 教科 芸術 科目 美術 I

教科：芸術

科目：美術 I

単位数：2 単位

対象学年組：第 1 学年 組～ 組

教科担当者：（組：A）（組：B）（組：EK）（組： ）（組： ）（組： ）

使用教科書：（高校生の美術 1 日本文教出版 ）

教科 芸術

の目標：

【知識及び技能】芸術に関する各科目の特質について理解するとともに、意図に基づいて表現するための技能を身につけさせる

【思考力、判断力、表現力等】創造的な表現を工夫したり、芸術の良さを深く味わったりすることができるようにする

【学びに向かう力、人間性等】生涯にわたり芸術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養い、豊かな情操を養う

科目 美術 I

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めるとともに、意図に応じて表現方法を創意工夫し、創造的に表すことができる。	造形的なよさや美しさ、表現の意図と創意工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生成し創造的に発想し構想を練ったり、価値意識をもって美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができるようにする。	主体的に美術の幅広い創造活動に取り組み、生涯にわたり美術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、美術文化に親しみ、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	表現			鑑賞	評価規準	知	思	態	配 当 時 数
		絵 ・ 彫	デ 映	映						
<p>名前のロゴマーク</p> <p>【知識及び技能】 ロゴマークの基礎的な知識や色彩や形の効果について理解し、造形感覚などを働かせ、意図に応じて創意工夫し、表現している。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 感性や想像力を働かせ、文字の形や自分自身の個性や特徴をもとに美しさなどを考え、表現の構想を練っている。ロゴマークの造形の美しさ、表現の工夫などを理解している。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 美術の創造活動の喜びを味わい、自分のシンボルマークを制作するにあたり主体的に構想を練ったり材料や用具を生かしている。CIの考えなど、造形の美しさ、作者の個性や特徴、表現の工夫などに気が付こうとする態度を養う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>水張りパネルの制作手順を学習し、演習を観察する。観察後、二人一組になり、それぞれの水張りパネルを協力して制作する。</li> <li>ロゴマークとは何か、CIの考えや文字のシンボル化について学習し、企業などのロゴマークを鑑賞する。</li> <li>タブレットを用いて、任意の企業などのロゴデザインを取り上げ、特徴や工夫点、見る人にとどのような印象を与えるか、ロゴマークの特徴や、制作するにあたっての注意点などについて考察し、まとめる。</li> <li>ロゴマークに投影する自分の情報を整理し、要素をイラストに起こす。</li> <li>イラストをもとに、アイデアスケッチを練り、全体のバランスを考えながら、配色を決定し、枠の中に大きく下描きを描く。</li> <li>アクリルガッシュの特性について学習し、筆を用いて作品を着色し、細部に至るまでこだわりをもち、最後に修正を行い、作品を仕上げる。</li> <li>タブレットを用いて、お互いの作品について作者の工夫や優れたところに着目した鑑賞を行い、感想を入力する。</li> <li>作品を写真撮影し、きれいにトリミングし、データ化して保存する。</li> </ul>	○	○	○	<p>【知識・技能】 ロゴマークの基礎的な知識や、色彩や形の効果について理解し、造形感覚などを働かせて、意図に応じた色彩や形状などの構想を練り、創意工夫して表現できている。</p> <p>【思考・判断・表現】 感性や想像力を働かせ、文字の形や自分自身の個性や特徴をもとに美しさなどを考え、表現の構想を練ることができる。ロゴマークの造形の美しさ、表現の工夫などを理解することができる。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 美術の創造活動の喜びを味わい、自分のシンボルマークを制作するにあたり主体的に構想を練ったり材料や用具を生かすことができる。CIの考えなど、造形の美しさ、作者の個性や特徴、表現の工夫などに気が付こうとする態度を身につけることができる。</p>	○	○	○	9	
<p>デッサン</p> <p>【知識及び技能】 対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めるとともに、意図に応じて表現方法を創意工夫し、創造的に表すことができる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 造形的なよさや美しさ、表現の意図と創意工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生成し創造的に発想し構想を練ったり、価値意識をもって美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができるようにしようとしている。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 主体的に美術の幅広い創造活動に取り組み、生涯にわたり美術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、美術文化に親しみ、心豊かな生活や社会を創造していくようとしている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>デッサンを鑑賞するとともに、鉛筆の硬さやタッチを変化させたスケッチの演習を行い、それぞれの描写の変化について学習する。</li> <li>鉛筆を用いて8マスの枠の中に段階的に濃淡を変化させ、トーン表を制作する。</li> <li>構図の適切な取り方やモチーフのバランスの効果について学習する。</li> <li>トーン表を参考に、適切な濃淡表現に注意しながらデッサンを行う。</li> <li>基礎図形について、正確な形状を描写し、遠近感を意識することができる。</li> <li>設定した時間内に仕上げるることができる。</li> <li>光と影、形状のバランスが取れた構図をとることができる。</li> <li>一目見て素材がわかるくらいの質感の描きこみをすることができる。</li> <li>質感の異なる複数のモチーフを、陰影や立体感を意識しながら描写できる。</li> </ul>	○		○	<p>【知識及び技能】 対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めるとともに、意図に応じて表現方法を創意工夫し、創造的に表すことができる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 造形的なよさや美しさ、表現の意図と創意工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生成し創造的に発想し構想を練ったり、価値意識をもって美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 主体的に美術の幅広い創造活動に取り組み、生涯にわたり美術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、美術文化に親しみ、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養うことができる。</p>	○	○	○	2	
<p>立体物を分割した建造物モデル</p> <p>【知識及び技能】 対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めるとともに、意図に応じて表現方法を創意工夫し、創造的に表すことができるようにす</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>立方体の展開図について理解し、試作する。</li> <li>立方体を3つ以上に分割した形の展開図について検討し、決定した展開図をパーツごとに分割し図面に起こすことができる。</li> </ul>				<p>【知識及び技能】 対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めるとともに、意図に応じて表現方法を創意工夫し、創造的に表すことができる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 造形的なよさや美しさ、表現の意図と創意工</p>					

	<p>る。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 造形的なよさや美しさ、表現の意図と創意工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生成し創造的に発想し構想を練ったり、価値意識をもって美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができるようにする。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 主体的に美術の幅広い創造活動に取り組み、生涯にわたり美術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、美術文化に親しみ、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。</p>	<p>・デザインカッターを用いて、図面に合わせて丁寧に切り取るとともに、のりしろの処理や折り筋の処理を行い、組み立ての作業をする。</p> <p>・のりしろにボンドをつけ、美しい立体造形を作り出し、制作した各立体を、見映えを意識しながら接続・配置する。</p> <p>・形状に合わせてテーマを設定し、キャプションを考える。</p> <p>・他者の作品を鑑賞し、互いの作品の良さを深め合うことができる。</p> <p>・作品を写真撮影し、きれいにトリミングし、データ化して保存する</p>	○	○	○	夫、美術の働きなどについて考え、主題を生成し創造的に発想し構想を練ったり、価値意識をもって美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができる。	○	○	○	8
	<p>STAFF証コンテスト</p> <p>【知識及び技能】 ロゴマークの基礎的な知識や色彩や形の効果について理解し、造形感覚などを働かせ、意図に応じて創意工夫し、表現している。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 感性や想像力を働かせ、文字のなどを働かせ、意図に応じて創意工夫し、表現している</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 美術の創造活動の喜びを味わい、自分のシンボルマークを制作するにあたり主体的に構想を練ったり材料や用具を生かしている。CIの考えなど、造形の美しさ、作者の個性や特徴、表現の工夫などに気が付こうとする態度を養う。</p>	<p>・ロゴの要素を理解し、八高祭のSTAFF証にふさわしいデザインを練る。</p> <p>・テーマに沿って視認性の高い構成を考える。</p> <p>・キャプションを考え、作品の紹介を行う。</p> <p>・他者の作品を鑑賞し、互いの作品の良さを深め合う。</p> <p>・作品を写真撮影し、きれいにトリミングし、データ化して保存する。</p>	○	○	○	<p>【知識及び技能】 ロゴマークの基礎的な知識や色彩や形の効果について理解し、造形感覚などを働かせ、意図に応じて創意工夫し、表現することができる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 感性や想像力を働かせ、文字の形や自分自身の個性や特徴をもとに美しさなどを考え、表現の構想を練っている。ロゴマークの造形の美しさ、表現の工夫などを理解することができる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 美術の創造活動の喜びを味わい、自分のシンボルマークを制作するにあたり主体的に構想を練ったり材料や用具を生かしている。CIの考えなど、造形の美しさ、作者の個性や特徴、表現の工夫などに気が付こうとする態度を養うことができる。</p>	○	○	○	2
	<p>詩からよみとる抽象画—平面構成</p> <p>【知識及び技能】 意図に応じて表現方法を創意工夫して、制作の順序などを総合的に考えながら見直しをもって創造的に表すとともに、形などの性質及びそれらが感情にもたらす効果や、場所や造形的な特徴などを基に、全体のイメージでとらえることを理解する。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 目的や機能との調和のとれた洗練された美しさなどを感じ取り、作者の心情や表現の意図と創造的な工夫などについて考えるなどして、美意識を高め見方や感じ方を深め表現の構想を練る。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 美術の創造活動の喜びを味わい主体的に主題を生み出し、統一感などを総合的に考え構想を練り、意図に応じて創意工夫し見直しをもって表す表現の学習活動に取り組む態度を養う。</p>	<p>・2つの対比するイメージについて考え、例を挙げる事が出来る。</p> <p>・構図効果や形態の性質を学び表現することができる。</p> <p>・アクリルガッシュの特性や扱い方を理解してムラなく表現できる。</p> <p>・各種筆の使い方を理解して表現できる。</p> <p>・ペタ塗りの方について理解し、実践できる。</p> <p>・細部まで丁寧に表現することができる。</p> <p>・はみ出しやムラの部分についてきれいに見えるまで修正することができる。</p> <p>・自分の作品について振り返り、シートにまとめることができる。</p> <p>・他の人の作品について、優れた表現やテーマを見つけ、深め合うことができる。</p>	○	○	○	<p>【知識及び技能】 意図に応じて表現方法を創意工夫して、制作の順序などを総合的に考えながら見直しをもって創造的に表すとともに、形などの性質及びそれらが感情にもたらす効果や、場所や造形的な特徴などを基に、全体のイメージでとらえることを理解することができる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 目的や機能との調和のとれた洗練された美しさなどを感じ取り、作者の心情や表現の意図と創造的な工夫などについて考え、主題を生成し創造的に発想し構想を練ったり、価値意識をもって美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 主体的に美術の幅広い創造活動に取り組み、生涯にわたり美術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、美術文化に親しみ、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養うことができる。</p>	○	○	○	10
2学期	<p>石彫のペーパーウェイト</p> <p>【知識及び技能】 意図に応じて表現方法を創意工夫して、制作の順序などを総合的に考えながら見直しをもって創造的に表すとともに、形などの性質及びそれらが感情にもたらす効果や、場所や造形的な特徴などを基に、全体のイメージでとらえることを理解することができる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 目的や機能との調和のとれた洗練された美しさなどを感じ取り、作者の心情や表現の意図と創造的な工夫などについて考えるなどして、美意識を高め見方や感じ方を深め表現の構想を練ることができる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 美術の創造活動の喜びを味わい主体的に主題を生み出し、統一感などを総合的に考え構想を練り、意図に応じて創意工夫し見直しをもって表す表現の学習活動に取り組む態度を養うことができる。</p>	<p>・石から生き生きとした形を彫り出すことの楽しさを味わうことができる。</p> <p>・立体的に捉え、どの視点から見ても面白いデザインを考えることができる。</p> <p>・彫刻刀を使い分けながら、360度の視点を持って彫り出すことができる。</p> <p>・細かい部分まで彫りだし、注意しながら丁寧に形作ることが出来る。</p> <p>・石材の特性を踏まえて磨き加工を施し、光沢のある仕上がりに出来る。</p> <p>・キャプションを考え、作品の紹介を行う。</p> <p>・他者の作品を鑑賞し、互いの作品の良さを深め合う。</p> <p>・作品を写真撮影し、きれいにトリミングし、データ化して保存する。</p>	○	○	○	<p>【知識及び技能】 対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めるとともに、意図に応じて表現方法を創意工夫し、創造的に表すことができる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 造形的なよさや美しさ、表現の意図と創意工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生成し創造的に発想し構想を練ったり、価値意識をもって美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 主体的に美術の幅広い創造活動に取り組み、生涯にわたり美術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、美術文化に親しみ、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養うことができる。</p>	○	○	○	8
	<p>グリーティングカード</p> <p>【知識及び技能】 対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めるとともに、意図に応じて表現方法を創意工夫し、創造的に表すことができる。</p>	<p>・参考作品をもとにして、立体感のあるオリジナルのグリーティングカードを、テーマを決めて考案していく。</p> <p>・アイデアをもとにして、色画用紙の裏側に下書きを施していく。</p>	○	○	○	<p>【知識及び技能】 対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めるとともに、意図に応じて表現方法を創意工夫し、創造的に表すことができる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 造形的なよさや美しさ、表現の意図と創意工</p>	○	○	○	



高等学校 令和5年度（2学年用） 教科 芸術 科目 美術Ⅱ

教科：芸術

科目：美術Ⅱ

単位数：2 単位

対象学年組：第1学年 組～ 組

教科担当者：（組：A）（組：B）（組：EK）（組： ）（組： ）（組： ）

使用教科書：（高校生の美術2 日本文教出版）

教科 芸術

の目標：

【知識及び技能】芸術に関する各科目の特質について理解するとともに、意図に基づいて表現するための技能を身につけさせる

【思考力、判断力、表現力等】創造的な表現を工夫したり、芸術の良さを深く味わったりすることができるようにする

【学びに向かう力、人間性等】生涯にわたり芸術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養い、豊かな情操を養う

科目 美術Ⅱ

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めるとともに、意図に応じて表現方法を創意工夫し、個性豊かで創造的に表すことができる。	造形的なよさや美しさ、表現の意図と創意工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生成し創造的に個性豊かに発想し構想を練ったり、自己の価値意識を高めて美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができるようにする。	主体的に美術の幅広い創造活動に取り組み、生涯にわたり美術を愛好する心情を育むとともに、感性と美意識を高め、美術文化に親しみ、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	表現			鑑賞	評価規準	知	思	態	配 当 時 数
		絵 ・ 彫	デ	映						
<p>タイトルデザイン</p> <p>【知識及び技能】 アクрилガッシュの特徴や表現技法を用いて、独自のフォントデザインを創意工夫を凝らして描く。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 基礎的なフォントの特徴を理解し、伝えたい意図や、言葉の個性をどのようなデザインで伝えるかを考える。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 文字のデザインに関心を持ち、レタリングやアイデアに必要な情報収集など、主体的に取り組む。</p>	<p>・レタリングの基礎的な知識について学習し、ポイントを押さえながら「永」の練習を行う。</p> <p>・自分の小説や物語のタイトルを設定する。・言葉や文字単体の雰囲気について、どのような配色や形状があっているか、アイデアを練ることができる。</p> <p>・アクрилガッシュの特性について学習し、筆を用いて作品を着色する。</p> <p>・タブレットを用いて、お互いの作品を鑑賞し、感想を入力する。</p> <p>・作者の工夫や優れたところに着目した鑑賞をする。・作品を写真撮影し、きれいにトリミングし、データ化して保存する。・細部に至るまでこだわりをもって制作し、修正を行う。</p>	○	○	○	○		○	○	○	7
<p>八高祭ポスター</p> <p>【知識及び技能】 色彩や構図の効果について理解し、八高祭のテーマに合わせ、メッセージが効果的に取り入れられているポスターを制作する。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 伝えたい内容や、八高祭の描写、八高祭のテーマを、形や色彩の効果を生かして構想を練る。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 伝えたい内容を印象的に伝える工夫をしているとともに、意図表現の工夫や製作者の創意工夫を感じ取る。</p>	<p>・有名なポスター作品の鑑賞を行い、ポスターの様々な効果や色の三要素などについて学習する。</p> <p>・八高祭のテーマと、ポスターを制作するにあたっての効果などを照らし合わせてながらアイデアスケッチを練る。</p> <p>・アイデアスケッチをもとにして、丁寧に線を整えながら下書きを描く。</p> <p>・広範囲の部分を平筆を用いて着色する。</p> <p>・タブレットを用いて、お互いの作品を鑑賞し、感想を入力する。</p> <p>・作者の工夫や優れたところに着目した鑑賞をする。</p> <p>・作品を写真撮影し、きれいにトリミングし、データ化して保存する。</p> <p>・細部に至るまでこだわりをもって制作し、修正を行い、作品のクオリティを上げる。</p> <p>・レタリングの手順を振り返り、ポスターに必要なレタリングの配置を考えながら下書きを描くことができる。</p>	○	○	○	○		○	○	○	10
<p>水墨画</p> <p>【知識及び技能】 対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めるとともに、意図に応じて表現方法を創意工夫し、創造的に表すことができる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 造形的なよさや美しさ、表現の意図と創意工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生成し創造的に発想し構想を練ったり、価値意識をもって美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができるようにしようとしている。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 主体的に美術の幅広い創造活動に取り組み、生涯にわたり美術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、美術文化に親しみ、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養うことができる。</p>	<p>・滲みやぼかしの演習を行い、簡単なスケッチに水墨を用いて塗りを実施する。</p> <p>・水彩紙とパネルを使い、シワなく丁寧に水張りすることができる。</p> <p>・パスが取れていて、奥行きのある風景を描くことができる。</p> <p>・丸筆や平筆など、描写に合った筆を選ぶことができる。</p> <p>・滲みやぼかし、ベタ塗など、自身の描写に合わせた表現をし、描くことができる。</p> <p>・重ね塗りをし、画面に奥行きを作り出すことができる。</p> <p>・全体のバランスを見て、白抜きすることができる。</p> <p>・最後までこだわりをもって細部にいたるまで丁寧に描きこむことができる。</p>	○	○	○	○		○	○	○	2





高等学校 令和5年度（3学年用） 教科 芸術 科目 美術Ⅲ

教科：芸術 科目：美術Ⅲ 単位数：3 単位  
 対象学年組：第1学年 組～ 組  
 教科担当者：（組：A）（組：B）（組： ）（組： ）（組： ）（組： ）  
 使用教科書：（高校生の美術2 日本文教出版）

教科 芸術 の目標：  
 【知識及び技能】芸術に関する各科目の特質について理解するとともに、意図に基づいて表現するための技能を身につけさせる  
 【思考力、判断力、表現力等】創造的な表現を工夫したり、芸術の良さを深く味わったりすることができるようにする  
 【学びに向かう力、人間性等】生涯にわたり芸術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養い、豊かな情操を養う

科目 美術Ⅲ の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めるとともに、意図に応じて表現方法を追求し、個性を生かして創造的に表すことができるようにする。	造形的なよさや美しさ、独創的な表現の意図と創意工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生成し個性を生かして発想し構想を練ったり、自己の価値意識を高めて美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができる。	主体的に美術の幅広い創造的な諸活動に取り組み、生涯にわたり美術を愛好する心情を育むとともに、感性と美意識を高め、美術文化を尊重し、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	表現			鑑賞	評価規準	知	思	態	配 当 時 数
		絵 ・ 彫	デ 映	映						
有名人のポスターゼーション 【知識及び技能】 絵の具の技法、色彩を理解し、五段階の明暗にて対象の絵画を表現している。 【思考力、判断力、表現力等】 感性や構想力を働かせて、写真、参考資料を基に画面の美しさを考え、構想を練る。 【学びに向かう力、人間性等】 色彩を理解し、技法や画面構成、表現方法に関心をもって取り組む。	・ポスターゼーションとはなにか学習する。 ・今題材の制作で使用する画像を、自身が設定したテーマをもとにして設定する。 ・写真を加工し、画像の単調化、明暗の5段階化をし、資料を制作する。 ・参考資料をもとに、パネルに転写する。 ・タブレットを用いて、お互いの作品を鑑賞し、感想を入力する。 ・作者の工夫や優れたところに着目した鑑賞をする。 ・作品を写真撮影し、きれいにトリミングし、データ化して保存する。 ・アクリルガッシュを用いて、5段階の色見本をパネルの外側に制作する。 ・アクリルガッシュの特性について学習し、筆を用いて作品を着色する。・細部に至るまでこだわりをもって制作し、修正を行い、作品のクオリティを上げる。	○	○	○	【知識及び技能】 絵の具の技法、色彩を理解し、五段階の明暗にて対象の絵画を表現することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 感性や構想力を働かせて、写真、参考資料を基に画面の美しさを考え、構想を練ることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 色彩を理解し、技法や画面構成、表現方法に関心をもって取り組むことができる。	○	○	○	12	
グラスリッツェン 【知識及び技能】 グラスリッツェンの技法を理解し、表現に合った描写を選択し、丁寧に美しい彫りを行う。 【思考力、判断力、表現力等】 グラスの透明感や繊細な線や点についての表現がより一層美しく見えるデザインを、資料を参考にしながら練る。 【学びに向かう力、人間性等】 主体的に参考となる図案の資料を探していたり、様々な技法を取り入れられて作品を制作しようと工夫している。	・グラスリッツェンの作品を鑑賞し、ガラスに彫刻を施す描写表現について学習する。 ・線や点などの描写の幅広さを学習し、図案をもとにしてアイデアスケッチを練ることができる。 ・アイデアスケッチをガラスに合わせ、油性ペンでなぞり、下絵を完成させる。 ・油性ペンで描かれた下絵をもとにして、大まかな輪郭から表現に合った描写方法で彫る。 ・細部に至るまでこだわりをもって制作し、修正を行い、作品のクオリティを上げる。 ・輪郭線をもとに、線や点の集中度や太さ、大きさなどの変化をつけながら彫り進める。 ・タブレットを用いて、お互いの作品を鑑賞し、感想を入力する。 ・作者の工夫や優れたところに着目した鑑賞をする。 ・作品を写真撮影し、きれいにトリミングし、データ化して保存する。	○	○	○	【知識及び技能】 グラスリッツェンの技法を理解し、表現に合った描写を選択し、丁寧に美しい彫りを行うことができる。 【思考力、判断力、表現力等】 グラスの透明感や繊細な線や点についての表現がより一層美しく見えるデザインを、資料を参考にしながら練ることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 主体的に参考となる図案の資料を探していたり、様々な技法を取り入れられて作品を制作しようと工夫していることができる。	○	○	○	8	
凹版画 【知識及び技能】 対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めるとともに、意図に応じて表現方法を創意工夫し、創造的に表すことができるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 造形的なよさや美しさ、表現の意図と創意工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生成し創造的に発想し構想を練ったり、価値意識をもって美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができるようにする。	・凹版画、凸版画、孔版画、平版画、それぞれの技法について学習するとともに、それぞれの版画の特徴や表現についてまとめる。 ・それぞれの版画作品の作品鑑賞を行い、表現の強みについてまとめることができる。 ・凹版画の特徴を活かしたアイデアを練ることができる。 ・凹版画表現に関心を持ち、主体的に取り組むことができる。 ・ニードルを用いてハッチングなどの技法を取り入れた版画を丁寧に作る。	○	○	○	【知識及び技能】 対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めるとともに、意図に応じて表現方法を創意工夫し、創造的に表すことができるようにすることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 造形的なよさや美しさ、表現の意図と創意工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生成し創造的に発想し構想を練ったり、価値意識をもって美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができるようにすることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 主体的に美術の幅広い創造活動に取り組み、生涯にわたり美術を愛好する心情を育むとともに、感性と美意識を高め、美術文化を尊重し、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。	○	○	○	12	

1  
学  
期

	りにする。 【学びに向かう力、人間性等】 主体的に美術の幅広い創造活動に取り組み、生涯にわたり美術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、美術文化に親しみ、心豊かな生活や社会を創造していく態度を育成する。	・インクの濃りや希薄さを試しながらきれいな印面を作り出すことができる。				生涯にわたり美術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、美術文化に親しみ、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養うことができる。					
	STAFF証コンテスト 【知識及び技能】 ロゴマークの基礎的な知識や色彩や形の効果について理解し、造形感覚などを働かせ、意図に応じて創意工夫し、表現している。 【思考力、判断力、表現力等】 感性や想像力を働かせ、文字の形や自分自身の個性や特徴をもとに美しさなどを考え、表現の構想を練っている。ロゴマークの造形的美しさ、表現の工夫などを理解している。 【学びに向かう力、人間性等】 美術の創造活動の喜びを味わい、自分のシンボルマークを制作するにあたり主体的に構想を練ったり材料や用具を生かしている。CIの考えなど、造形的美しさ、作者の個性や特徴、表現の工夫などに気が付こうとする態度を育成する。	・ロゴの要素を理解し、八高祭のSTAFF証にふさわしいデザインを練る。 ・テーマに沿って視認性の高い構成を考える。 ・キャプションを考え、作品の紹介を行う。 ・他者の作品を鑑賞し、互いの作品の良さを深め合う。 ・作品を写真撮影し、きれいにトリミングし、データ化して保存する。				【知識及び技能】 ロゴマークの基礎的な知識や色彩や形の効果について理解し、造形感覚などを働かせ、意図に応じて創意工夫し、表現することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 感性や想像力を働かせ、文字の形や自分自身の個性や特徴をもとに美しさなどを考え、表現の構想を練っている。ロゴマークの造形的美しさ、表現の工夫などを理解することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 美術の創造活動の喜びを味わい、自分のシンボルマークを制作するにあたり主体的に構想を練ったり材料や用具を生かしている。CIの考えなど、造形的美しさ、作者の個性や特徴、表現の工夫などに気が付こうとする態度を養うことができている。					2
	空間デザイン 【知識及び技能】 造形的な視点について理解を深めるとともに、意図に応じて表現方法を創意工夫し、創造的に表すことができるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 造形的なよさや美しさ、表現の意図、美術の働きなどについて考え、構想を練ったり、価値意識をもって美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 主体的に美術の幅広い創造活動に取り組み、感性を高め、美術文化に親しみ、心豊かな生活や社会を創造していく態度を育成する。	・作品会を開催することを想定して、どのような展覧会にするのか、どこで開催するのか、構想を練っていく。 ・展示するにあたり、作品をどのように展示すれば効果的に作品を鑑賞できるのか、壁や天井などの空間全体を考えながら計画を練っていく。 ・良さや、改善点などを書き出し、より良い展示のデザインを考える。 ・展覧会の主催者として、それぞれの作品の良さや工夫について、ほかの生徒に発表していく。 ・発表を聞くことで、他者の作品の良いところについてさらに考えを深めることができる。				【知識及び技能】 造形的な視点について理解を深めるとともに、意図に応じて表現方法を創意工夫し、創造的に表すことができるようにすることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 造形的なよさや美しさ、表現の意図、美術の働きなどについて考え、構想を練ったり、価値意識をもって美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 主体的に美術の幅広い創造活動に取り組み、感性を高め、美術文化に親しみ、心豊かな生活や社会を創造していく態度を身に付けることができる。					1
	印刷 【知識及び技能】 造形的な視点について理解を深めるとともに、意図に応じて表現方法を創意工夫し、創造的に表すことができるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 造形的なよさや美しさ、表現の意図、美術の働きなどについて考え、構想を練ったり、価値意識をもって美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 主体的に美術の幅広い創造活動に取り組み、感性を高め、美術文化に親しみ、心豊かな生活や社会を創造していく態度を育成する。	・印刷の仕組みや、三原色の仕組みについて学習する。 ・インクのノリ具合や版の厚みを考慮しながらプレス機の圧を調節する。 ・紙の湿りを調節する。 ・版にインクを流し込み、ローラー、寒冷紗、人絹、油膜取りのそれぞれの工程の注意点について学習しながら印刷をしていく。 ・作者の工夫や優れたところに着目した鑑賞をする。 ・作品を写真撮影し、きれいにトリミングし、データ化して保存する。				【知識及び技能】 造形的な視点について理解を深めるとともに、意図に応じて表現方法を創意工夫し、創造的に表すことができるようにすることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 造形的なよさや美しさ、表現の意図、美術の働きなどについて考え、構想を練ったり、価値意識をもって美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 主体的に美術の幅広い創造活動に取り組み、感性を高め、美術文化に親しみ、心豊かな生活や社会を創造していく態度を身に付けることができる。					6
2 学期	鋳型メダル 【知識及び技能】 対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めるとともに、意図に応じて表現方法を創意工夫し、創造的に表すことができるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 造形的なよさや美しさ、表現の意図と創意工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生成し創造的に発想し構想を練ったり、価値意識をもって美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 主体的に美術の幅広い創造活動に取り組み、生涯にわたり美術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、美術文化に親しみ、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。	・金属の特性と鋳造技法について理解することができる。 ・鋳型を制作するための粘土を形成することができる。 ・形成した粘土を使って、鋳型をきれいに制作することができる。 ・加熱した錫を鋳型に流し込み、冷や固まらせて形状を作り出すことができる。 ・表面を研磨し、美しく磨き上げて光るくらいに仕上げるすることができる。 ・他の人の作品の表現の良さを見つけ、深め合うことができる。 ・作者の工夫や優れたところに着目した鑑賞をする。 ・作品を写真撮影し、きれいにトリミングし、データ化して保存する。				【知識及び技能】 対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めるとともに、意図に応じて表現方法を創意工夫し、創造的に表すことができるようにすることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 造形的なよさや美しさ、表現の意図と創意工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生成し創造的に発想し構想を練ったり、価値意識をもって美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができるようにすることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 主体的に美術の幅広い創造活動に取り組み、生涯にわたり美術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、美術文化に親しみ、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養うことができる。					9
	共同制作一日めくりカレンダー 【知識及び技能】 造形的な視点について理解を深めるとともに、意図に応じて表現方法を創意工夫し、創造的に表すことができるようにする。	・作品に沿ったテーマを話し合いをして設定することができる。 ・話し合いをして、日付毎に役割分担を行い、テーマに沿った画材を選択することができる。				【知識及び技能】 造形的な視点について理解を深めるとともに、意図に応じて表現方法を創意工夫し、創造的に表すことができるようにすることができる。					



高等学校 令和5年度（3学年用） 教科 芸術 科目 構成

教科： 芸術

科目： 構成

単位数： 2 単位

対象学年組： 第 3 学年 組～ 組

教科担当者： （ 組： A ） （ 組： B ） （ 組： ） （ 組： ） （ 組： ） （ 組： ）

使用教科書： （ なし ）

教科 芸術

の目標：

【知識及び技能】 芸術に関する各科目の特質について理解するとともに、意図に基づいて表現するための技能を身につけさせる

【思考力、判断力、表現力等】 創造的な表現を工夫したり、芸術の良さを深く味わったりすることができるようにする

【学びに向かう力、人間性等】 生涯にわたり芸術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養い、豊かな情操を養う

科目 構成

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
造形的な創造活動に関わる諸要素について理解を深めるとともに、基礎となる技能を身に付けようとする。	造形的な表現効果を高めるための基礎となる思考力、判断力、表現力等を育成する。	造形感覚を高めようとする態度を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	表現			評価規準	知	思	態	配 当 時 数
		絵 ・ 彫	テ 映	鑑 賞					
色見本づくり 【知識及び技能】 造形的な創造活動に関わる諸要素について理解を深めるとともに、基礎となる技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 造形的な表現効果を高めるための基礎となる思考力、判断力、表現力等を身に付ける。 【学びに向かう力、人間性等】 造形感覚を高めようとする態度を身に付ける。	・慣用色名と系統色名の違いについて学習する。 ・慣用色名の色の名称や、系統色名の成立ちについて学習する。 ・他の生徒と色を分担し、見本を参考にしながらパワーポイントを用いてオリジナルの色見本を制作する。	○	○	○	【知識及び技能】 造形的な創造活動に関わる諸要素について理解を深めるとともに、基礎となる技能を身に付けることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 造形的な表現効果を高めるための基礎となる思考力、判断力、表現力等を身に付けることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 造形感覚を高めようとする態度を身に付けることができる。	○	○	○	2
カラーキューブ制作 【知識及び技能】 造形的な創造活動に関わる諸要素について理解を深めるとともに、基礎となる技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 造形的な表現効果を高めるための基礎となる思考力、判断力、表現力等を身に付ける。 【学びに向かう力、人間性等】 造形感覚を高めようとする態度を身に付ける。	・カラーキューブを作成し、色彩への理解を深めることができる。 ・アクリルガッシュをムラなく塗ることができる。 ・はみ出しなく丁寧に着色し、はみ出してしまったところを綺麗に修整することができる。 ・見本を参考にして、正しい位置に色を載せることができる。 ・見本を参考にして、正確な色を混色することができる。 ・配置を間違えないようにキューブに組み立てることができる。	○	○	○	【知識及び技能】 造形的な創造活動に関わる諸要素について理解を深めるとともに、基礎となる技能を身に付けることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 造形的な表現効果を高めるための基礎となる思考力、判断力、表現力等を身に付けることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 造形感覚を高めようとする態度を身に付けることができる。	○	○	○	3
色彩基礎 【知識及び技能】 造形的な創造活動に関わる諸要素について理解を深めるとともに、基礎となる技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 造形的な表現効果を高めるための基礎となる思考力、判断力、表現力等を身に付ける。 【学びに向かう力、人間性等】 造形感覚を高めようとする態度を身に付ける。	・色の見え方について理解することができる。 ・色相環および、マンセルシステムについて学習し色のルーツを学ぶことができる。 ・無彩色、有彩色と明度差について色彩の比較を行い、理解を深めることができる。 ・主な慣用色名を覚えることができる。	○	○	○	【知識及び技能】 造形的な創造活動に関わる諸要素について理解を深めるとともに、基礎となる技能を身に付けることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 造形的な表現効果を高めるための基礎となる思考力、判断力、表現力等を身に付けることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 造形感覚を高めようとする態度を身に付けることができる。	○	○	○	10
八丈島の平面構成 【知識及び技能】 造形的な創造活動に関わる諸要素について理解を深めるとともに、基礎となる技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 造形的な表現効果を高めるための基礎となる思考力、判断力、表現力等を身に付ける。 【学びに向かう力、人間性等】 造形感覚を高めようとする態度を身に付ける。	・テーマに合わせて選択した色相の根拠を明らかにし、アイデアスケッチを練ることができる。 ・アクリルガッシュの特性について学習し、筆を用いて作品を着色する。 ・タブレットを用いて、お互いの作品を鑑賞し、感想を入力する。 ・作者の工夫や優れたところに着目した鑑賞をする。 ・作品を写真撮影し、きれいにトリミングし、データ化して保存する。	○	○	○	【知識及び技能】 造形的な創造活動に関わる諸要素について理解を深めるとともに、基礎となる技能を身に付けることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 造形的な表現効果を高めるための基礎となる思考力、判断力、表現力等を身に付けることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 造形感覚を高めようとする態度を身に付けることができる。	○	○	○	6
季節の名画 【知識及び技能】 造形的な創造活動に関わる諸要素について理解を深めるとともに、基礎となる技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 造形的な表現効果を高めるための基礎となる思考力、判断力、表現力等を身に付ける。 【学びに向かう力、人間性等】 造形感覚を高めようとする態度を身に付ける。	・季節のテーマカラーを調べてまとめることが出来る。 ・季節を選択し、テーマカラーに沿って名画の色彩を変更することができる。 ・タブレットを用いて、お互いの作品を鑑賞し、感想を入力する。 ・作者の工夫や優れたところに着目した鑑賞をする。 ・作品を写真撮影し、きれいにトリミングし、データ化して保存する。	○	○	○	【知識及び技能】 造形的な創造活動に関わる諸要素について理解を深めるとともに、基礎となる技能を身に付けることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 造形的な表現効果を高めるための基礎となる思考力、判断力、表現力等を身に付けることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 造形感覚を高めようとする態度を身に付けることができる。	○	○	○	2



高等学校 令和5年度（3学年用） 教科 芸術 科目 絵画

教科：芸術

科目：絵画

単位数：2 単位

対象学年組：第 3 学年 組～ 組

教科担当者：（組：A）（組：B）（組：EK）（組： ）（組： ）（組： ）

使用教科書：（高校生の美術2 日本文教出版）

教科 芸術

の目標：

【知識及び技能】芸術に関する各科目の特質について理解するとともに、意図に基づいて表現するための技能を身につけさせる

【思考力、判断力、表現力等】創造的な表現を工夫したり、芸術の良さを深く味わったりすることができるようにする

【学びに向かう力、人間性等】生涯にわたり芸術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養い、豊かな情操を養う

科目 絵画

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
表現形式の特性について理解を深めるとともに、専門的な技能を身に付けるようにする。	表現及び鑑賞に関する創造的な思考力、判断力、表現力等を育成する。	絵画表現の可能性を追求する態度を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	表現			鑑賞	評価規準	知	思	態	配 当 時 数
		絵 ・ 彫	デ ・ 映							
<p>絵画鑑賞</p> <p>【知識及び技能】 表現形式の特性について理解を深めるとともに、専門的な技能を身に付ける。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 表現及び鑑賞に関する創造的な思考力、判断力、表現力等を身に付ける。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 絵画表現の可能性を追求する態度を身に付ける。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・著名な絵画作品を、絵画技法や時代背景とともに学習し、鑑賞する。</li> <li>・時代から生まれた表現方法や、技法が生み出す独特のタッチについて、学習する。</li> <li>・画家が歩んできた人生について、画家の画風の変化を読み取りながら学習することができる。</li> </ul>	○	○	○	<p>【知識及び技能】 表現形式の特性について理解を深めるとともに、専門的な技能を身に付けることができる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 表現及び鑑賞に関する創造的な思考力、判断力、表現力等を身に付けることができる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 絵画表現の可能性を追求する態度を身に付けることができる。</p>	○	○	○	2	
<p>画材研究</p> <p>【知識及び技能】 表現形式の特性について理解を深めるとともに、専門的な技能を身に付ける。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 表現及び鑑賞に関する創造的な思考力、判断力、表現力等を身に付ける。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 絵画表現の可能性を追求する態度を身に付ける。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・油彩、水彩、アクリルガッシュ、日本画、それぞれの画材の表現や技法について、作品を鑑賞するとともに学習し、それぞれの画材で小作品を製作する。</li> <li>・画材や道具の取り扱いや注意点について学習する。</li> <li>・油の使い分けや、膠の保存について学習する。</li> </ul>	○	○	○	<p>【知識及び技能】 表現形式の特性について理解を深めるとともに、専門的な技能を身に付けることができる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 表現及び鑑賞に関する創造的な思考力、判断力、表現力等を身に付けることができる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 絵画表現の可能性を追求する態度を身に付けることができる。</p>	○	○	○	6	
<p>だまし絵画</p> <p>【知識及び技能】 表現形式の特性について理解を深めるとともに、専門的な技能を身に付ける。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 表現及び鑑賞に関する創造的な思考力、判断力、表現力等を身に付ける。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 絵画表現の可能性を追求する態度を身に付ける。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・トリックアートやだまし絵と言った作品を鑑賞し、自身のアイデアに活かしていく。</li> <li>・鑑賞者がどのように視覚的にだまされるのか、目の錯覚が起きるのか、創意工夫を施してアイデアを練ることができる。</li> <li>・アイデアスケッチをもとにして、丁寧に線を整えながら下書きを描く。</li> <li>・広範囲の部分に平筆を用いて着色する。</li> <li>・細部に至るまでこだわりをもって制作し、修正を行い、作品のクオリティを上げる。</li> <li>・タブレットを用いて、お互いの作品を鑑賞し、感想を入力する。</li> </ul>	○	○	○	<p>【知識及び技能】 表現形式の特性について理解を深めるとともに、専門的な技能を身に付けることができる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 表現及び鑑賞に関する創造的な思考力、判断力、表現力等を身に付けることができる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 絵画表現の可能性を追求する態度を身に付けることができる。</p>	○	○	○	14	
<p>ポートフォリオ</p> <p>【知識及び技能】 表現形式の特性について理解を深めるとともに、専門的な技能を身に付ける。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 表現及び鑑賞に関する創造的な思考力、判断力、表現力等を身に付ける。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 絵画表現の可能性を追求する態度を身に付ける。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業や、その他で制作した作品や創作活動を振り返り、情報収集をする。</li> <li>・様々なポートフォリオを鑑賞し、どのように展開すれば見やすいのか、伝わるのか、インパクトがあるのか考察をする。</li> <li>・「見やすさ」「伝わりやすさ」「心に残る」の3点を重点的に、ポートフォリオを考案する。</li> </ul>	○	○	○	<p>【知識及び技能】 表現形式の特性について理解を深めるとともに、専門的な技能を身に付けることができる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 表現及び鑑賞に関する創造的な思考力、判断力、表現力等を身に付けることができる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 絵画表現の可能性を追求する態度を身に付けることができる。</p>	○	○	○	2	
<p>細密画</p> <p>【知識及び技能】 表現形式の特性について理解を深めるとともに、専門的な技能を身に付ける。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 表現及び鑑賞に関する創造的な思考力、判断力、表現力等を身に付ける。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 絵画表現の可能性を追求する態度を身に付ける。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・10Hから10Bまでの鉛筆の硬さの特徴を理解し、描写に活かすことができる。</li> <li>・鉛筆を寝かせて描く、立たせて描くなどといった鉛筆の基礎的な使い方や描き分けについて学習し、描写することができる。</li> <li>・タブレットを用いて、お互いの作品を鑑賞し、感想を入力する。</li> <li>・作者の工夫や優れたところに着目した鑑賞をする。</li> <li>・作品を写真撮影し、きれいにトリミングし、データ化して保存</li> </ul>	○	○	○	<p>【知識及び技能】 表現形式の特性について理解を深めるとともに、専門的な技能を身に付けることができる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 表現及び鑑賞に関する創造的な思考力、判断力、表現力等を身に付けることができる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 絵画表現の可能性を追求する態度を身に付けることができる。</p>	○	○	○	8	

2 学 期	<p>絵本製作</p> <p>【知識及び技能】 表現形式の特性について理解を深めるとともに、専門的な技能を身に付ける。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 表現及び鑑賞に関する創造的な思考力、判断力、表現力等を身に付ける。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 絵画表現の可能性を追求する態度を身に付ける。</p>	<p>・ストーリーにいたるまで全てオリジナルの絵本を制作することができる。</p> <p>・自身の考えたストーリーに合った画風を展開することができる。</p> <p>・絵本の種類や読者の年齢層に適した文言を考えることができる。</p> <p>・伝わりやすくわかりやすい絵柄を設定することができる。</p> <p>・作風に適した画材を選択することができる。</p> <p>・限られたページの中で、どのように物語を展開するのか考えることができる。</p> <p>・技法を工夫し、作中の雰囲気に適した描写をすることができる。</p> <p>・起承転結がわかりやすい物語のイラストを考えることができる。</p> <p>・真つすぐ線を引き、コマ割のマスを描くことができる。</p> <p>・全体で一つの作品であるという意識をもち、1ページ1ページのクオリティが均一になるように仕上げるすることができる。</p>	○	○	○	<p>【知識及び技能】 表現形式の特性について理解を深めるとともに、専門的な技能を身に付けることができる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 表現及び鑑賞に関する創造的な思考力、判断力、表現力等を身に付けることができる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 絵画表現の可能性を追求する態度を身に付けることができる。</p>	○	○	○	10
	<p>装丁の世界</p> <p>【知識及び技能】 表現形式の特性について理解を深めるとともに、専門的な技能を身に付ける。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 表現及び鑑賞に関する創造的な思考力、判断力、表現力等を身に付ける。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 絵画表現の可能性を追求する態度を身に付ける。</p>	<p>・様々な装丁作品を鑑賞し、それぞれの装丁の技法や仕上がりについて学習する。</p> <p>・機能的な技法や、装飾的な技法について学習する。</p> <p>・本のそれぞれの名称について機能的な役割とともに学習する。</p> <p>・和綴じの技法を学習し、メモ帳を和綴じの技法を用いて製作する。</p>	○	○	○	<p>【知識及び技能】 表現形式の特性について理解を深めるとともに、専門的な技能を身に付けることができる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 表現及び鑑賞に関する創造的な思考力、判断力、表現力等を身に付けることができる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 絵画表現の可能性を追求する態度を身に付けることができる。</p>	○	○	○	4
3 学 期	<p>製本</p> <p>【知識及び技能】 表現形式の特性について理解を深めるとともに、専門的な技能を身に付ける。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 表現及び鑑賞に関する創造的な思考力、判断力、表現力等を身に付ける。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 絵画表現の可能性を追求する態度を身に付ける。</p>	<p>・表紙とイラストを合わせて、並べることができる。</p> <p>・制作したイラストと表紙を丁寧に製本し、本にすることができる。</p> <p>・はみ出した部分を綺麗に切り揃え、やすりをかけることができる。</p>	○	○	○	<p>【知識及び技能】 表現形式の特性について理解を深めるとともに、専門的な技能を身に付けることができる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 表現及び鑑賞に関する創造的な思考力、判断力、表現力等を身に付けることができる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 絵画表現の可能性を追求する態度を身に付けることができる。</p>	○	○	○	4
										<p>合 計</p> <p>50</p>

高等学校 令和5年度（3学年用） 教科 芸術 科目 美術概論

教科：芸術 科目：美術概論 単位数：2 単位  
 対象学年組：第3学年 組～組  
 教科担当者：（組：A）（組：B）（組： ）（組： ）（組： ）（組： ）  
 使用教科書：（高校生の美術2 日本文教出版）  
 教科 芸術 の目標：

- 【知識及び技能】芸術に関する各科目の特質について理解するとともに、意図に基づいて表現するための技能を身につけさせる
- 【思考力、判断力、表現力等】創造的な表現を工夫したり、芸術の良さを深く味わったりすることができるようにする
- 【学びに向かう力、人間性等】生涯にわたり芸術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養い、豊かな情操を養う

科目 美術概論 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
芸術としての美術の意義や基礎的な理論について理解を深めることができるようにする。	美術に関する創造的な思考力、判断力、表現力等を育成する。	美術を専門的に学ぼうとする態度を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	表現			鑑賞	評価規準	知	思	態	配 当 時 数		
		絵 ・ 彫	デ 映	映								
<p>美学基礎－美しいとは</p> <p>【知識及び技能】自分の中の「美学」という価値観について、深く考察し、規定に沿って論文を制作する。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】社会と自己の「美学」という存在を比較し、考察する。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】論文を制作するにあたり、自身が必要な情報が主体的に収集する。</p>	<p>・世の中を取り巻く「美学」という概念と、自身の中で確立している「美学」という価値観について、深く考察し、考察をする。</p>				○	【知識及び技能】自分の中の「美学」という価値観について、深く考察し、規定に沿って論文を制作することができる。				○	○	2
<p>美学基礎－価値意識について</p> <p>【知識及び技能】「かわいい」という価値観の根源や、海外文化の「kawaii」、日本文化の「かわいい」が比較し、自身の意見を述べられている。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】かわいいという価値観について想像的な考えを巡らせながら、深く考察している。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】論文を制作するにあたり、自身が必要な情報が主体的に収集し、専門的な知識を学ぼうとする。また、他者の論文を読むことで新たな視点に気が付く。</p>	<p>・自身が導く考察や結論に基づき、文章の構成を練るとともに、必要な情報の収集を行い、整理する。</p> <p>・論文の完成を目指し、整理した情報をもとにして、規定に沿った論文の制作をする。</p> <p>・他の生徒の論文を読み、斬新であった考えや視点について気付くとともに、自身とは異なる感は絵などについて話し合う。</p> <p>・他の生徒の分を読むことで気付いた視点や、新しい視点などについて考えを巡らし、広げる。</p>				○	【知識及び技能】「かわいい」という価値観の根源や、海外文化の「kawaii」、日本文化の「かわいい」が比較し、自身の意見を述べることができる。 <p>【思考力、判断力、表現力等】かわいいという価値観について想像的な考えを巡らせながら、深く考察することができる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】論文を制作するにあたり、自身が必要な情報が主体的に収集し、専門的な知識を学ぼうとする。また、他者の論文を読むことで新たな視点に気が付くことができる。</p>				○	○	4
<p>美学応用－芸術「作品」の定義</p> <p>【知識及び技能】芸術作品の「作品」となる基準について、芸術作品の例を挙げながら自身の考えをまとめ、述べる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】描かれた絵画は「作品」と呼べるのか、また、何をもちて作品とするのか、自身の考えをまとめる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】論文を制作するにあたり、自身が必要な情報が主体的に収集を行う。また、他者の論文を読むことで新たな視点に気が付く。</p>	<p>・意図としない絵画を制作し、生徒同士で鑑賞を行う。また、動物が人間によって描かれた絵画作品も鑑賞し、製作者に意図がない作品であっても鑑賞者が意図を見出すことについて考察する。</p> <p>・「作品である」「作品ではない」という意見が割れる事例について、調べ、考察する。</p> <p>・収集した情報をもとに、自分にとって「作品」が「作品」として確立する根拠について熟考し、文章にまとめる。</p> <p>・他の生徒の論文を読み、斬新であった考えや視点について気付くとともに、自身とは異なる感は絵などについて話し合う。</p> <p>・論文の完成を目指し、整理した情報をもとにして、規定に沿った論文の制作をする。</p> <p>・他の生徒の分を読むことで気付いた視点や、新しい視点などについて考えを巡らし、広げる。</p>				○	【知識及び技能】芸術作品の「作品」となる基準について、芸術作品の例を挙げながら自身の考えをまとめ、述べるることができる。 <p>【思考力、判断力、表現力等】描かれた絵画は「作品」と呼べるのか、また、何をもちて作品とするのか、自身の考えをまとめることができる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】論文を制作するにあたり、自身が必要な情報が主体的に収集を行う。また、他者の論文を読むことで新たな視点に気が付くことができる。</p>				○	○	8
<p>アートと著作権</p> <p>【知識及び技能】芸術としての美術の意義や基礎的な理論について理解を深めることができるようにする。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】美術に関する創造的な思考力、判断力、表現力等を育成する。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】美術を専門的に学ぼうとする態度を養う。</p>	<p>・アートという観点から見た知的財産について学習し、理解を深めることができる。</p> <p>・創作の権利と創作物の権利について学習し、理解を深めることができる。</p> <p>・知的財産について学習し、基礎的な知識を身に付けることができる。</p> <p>・自身の創作活動と知的財産および肖像権の関りについて考えを述べる。</p> <p>・肖像権について学習し、基礎的な知識を身に付けることができる。</p>				○	【知識及び技能】芸術としての美術の意義や基礎的な理論について理解を深めることができるようにすることができる。 <p>【思考力、判断力、表現力等】美術に関する創造的な思考力、判断力、表現力等を育成することができる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】美術を専門的に学ぼうとする態度を養うことができる。</p>				○	○	4



高等学校 令和5年度（1学年用） 教科 芸術 科目 書道 I

教科：芸術 科目：書道 I

単位数：2 単位

対象学年組：第1学年 A 組～ EK 組

教科担当者：今泉 咲季

使用教科書：（東京書籍 書道 I）

教科 芸術 の目標：

【知識及び技能】芸術に関する各科目の特質について理解するとともに、意図に基づいて表現するための技能を身に付けるよう

【思考力、判断力、表現力等】創造的な表現を工夫したり、芸術のよさや美しさを深く味わったりすることができるようにする。

【学びに向かう力、人間性等】生涯にわたり芸術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、心豊かな生活や社会を創造するという態度を養

科目 書道 I の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
書の表現の方法や形式、多様性などについて幅広く理解するとともに、書写能力の向上を図り、書の伝統に基づき、効果的に表現するための基礎的な技能を身に付けるようにする。	書のよさや美しさを感じ、意図に基づいて構想し表現を工夫したり、作品や書の伝統と文化の意味や価値を考え、書的美を味わい捉えたりすることができるようにする。	主体的に書の幅広い活動に取り組み、生涯にわたり書を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、書の伝統と文化に親しみ、書を通して心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	表現		鑑賞	評価規準	知	思	態	記 時 数
		漢	仮						
漢字の書（楷書） 【知識及び技能】 ・用具・用材の特徴を理解しながら、楷書体の古典作品を臨書し、各古典作品ごとの特徴を理解させ、書き分ける技術を身に付けさせる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・中学までの復習をするとともに、高校書道との違いを理解させる。書道の学習に必要な用具・用材の特徴と扱い方を学び、用途に応じて使用および丁寧な扱いができるようにさせる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・楷書作品の鑑賞を通じて、自己の表現力を養う。	・漢字の書（楷書）の臨書・鑑賞 プリント、水書板による運筆の解説 机間巡視による指導				各時間の課題作品、ワークシート、授業態度 書体や書風と用筆・運筆との関わりについて理解している。 古典に基づく基本的な用筆・運筆の技能を身に付けている。 古典の書体や書風に即した用筆・運筆、字形、全体の構成について構想し工夫している。 主体的に漢字の書の幅広い表現の学習活動に取り組みようとしている。 作品や書の意味や価値について考えながら、幅広い鑑賞の学習に取り組みようとしている。				12
漢字の書（行書） 【知識及び技能】 ・行書体の古典作品を臨書し、各古典作品ごとの特徴を理解させ、書き分ける技術を身に付けさせる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・行書体の筆遣いと楷書体の筆遣いを比較させ、違いを理解させる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・古典作品や他生徒作品の鑑賞を通じて、自己の表現力を養う。	漢字の書（行書）の臨書・鑑賞 プリント、水書板による運筆の解説 机間巡視による指導				各時間の課題作品、ワークシート、授業態度 書体や書風と用筆・運筆との関わりについて理解している。 古典に基づく基本的な用筆・運筆の技能を身に付けている。 古典の書体や書風に即した用筆・運筆、字形、全体の構成について構想し工夫している。 主体的に漢字の書の幅広い表現の学習活動に取り組みようとしている。 作品や書の意味や価値について考えながら、幅広い鑑賞の学習に取り組みようとしている。				5
仮名の書 【知識及び技能】 仮名の成り立ちを学び、仮名と漢字の筆遣いを理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 仮名の古筆の臨書の学習を通じて、仮名の筆遣いの理解を深めさせる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・仮名作品の鑑賞を通じて、自己の表現力を養う。	仮名の書の臨書・鑑賞 プリント、水書板による運筆の解説 机間巡視による指導				各時間の課題作品、ワークシート、授業態度 仮名の古典の書風に即した用筆・運筆、字形、全体の構成について理解している。 古典に基づく基本的な用筆・運筆の技能を身に付けている。 古典の書体や書風に即した用筆・運筆、字形、全体の構成について構想し工夫している。 主体的に仮名の書の幅広い表現の学習活動に取り組みようとしている。 作品や書の意味や価値について考えながら、幅広い鑑賞の学習に取り組みようとしている。				6
漢字仮名交じりの書 【知識及び技能】 用具・用材の特徴と表現効果の関わり、名筆や現代の書の表現と用筆・運筆との関わりについて理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 漢字と仮名の調和した字形、文字の大きさ、全体の構成、目的や意図に基づいた表現力を身に付けさせる。 【学びに向かう力、人間性等】 漢字仮名交じりの書や他生徒の作品鑑賞を通じて、自己の表現力を養う。	漢字仮名交じりの書の創作・他生徒作品の鑑賞・意見交換 現代の書の鑑賞をさせ、創作の表現方法の効果について解説				創作作品、ワークシート、授業態度 目的や用途に即した効果的な表現や、漢字と仮名の調和した線質、余白による表現の工夫をしている。 目的や用途に即した表現形式、題材の解釈に基づいた表現、名筆を生かした表現や現代に生きる表現について構想し工夫している。 作品や書の意味や価値について考えながら、幅広い鑑賞の学習に取り組みようとしている。				15
漢字の書（草書・隷書） 【知識及び技能】 ・草・隷書体の古典作品を臨書し、各書体ごとの特徴を理解させ、技能を身に付けさせる。 【思考力、判断力、表現力等】 草・隷書体の基本運筆を練習させ、楷書体、行書体との違いを理解させる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・草・隷書作品の鑑賞を通じて、自己の表現力を養う。	漢字の書（草書・隷書）の臨書・鑑賞 プリント、水書板による運筆の解説 机間巡視による指導				・各時間の課題作品、ワークシート、授業態度 草・篆書の古典の書風に即した用筆・運筆、字形、全体の構成について理解している。 古典に基づく基本的な用筆・運筆の技能を身に付けている。 古典の書体や書風に即した用筆・運筆、字形、全体の構成について構想し工夫している。 主体的に漢字の書の幅広い表現の学習活動に取り組みようとしている。 作品や書の意味や価値について考えながら、幅広い鑑賞の学習に取り組みようとしている。				4
硬筆 【知識及び技能】 日常の書（はがき、手紙）の書き方を学習し、硬筆の技能を身に付けさせる。 ・著作権について学習し、引用する場合の方法や注意点を身に付けさせる。 【思考力、判断力、表現力等】 生活や社会における書の効用について理解させる。 【学びに向かう力、人間性等】 日常に生かそうと意欲的に取り組む姿勢を育むとともに、自己の表現力にもつなげる。	はがき、手紙 ・漢字の書き順についての指導 ・ワークシート プリントによる解説 授業中での添削				ワークシート、授業態度 書式による書き方の違いや筆毛と硬筆での表現方法の違いを理解している。 著作権について理解している。 硬筆技能の向上に向けて主体的に学習に取り組みようとしている。				6
								合計	48

高等学校 令和5年度（2学年用） 教科 芸術 科目 書道Ⅱ

教科：芸術 科目：書道Ⅱ

単位数：2 単位

対象学年組：第2学年 A組～EK組

教科担当者：今泉 咲季

使用教科書：（東京書籍 書道Ⅰ）

教科 芸術 の目標：

【知識及び技能】芸術に関する各科目の特質について理解するとともに、意図に基づいて表現するための技能を身に付けるよう

【思考力、判断力、表現力等】創造的な表現を工夫したり、芸術のよさや美しさを深く味わったりすることができるようにする。

【学びに向かう力、人間性等】生涯にわたって芸術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、心豊かな生活や社会を創造するという態度を養

科目 書道Ⅱ の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
書の表現の方法や形式、多様性などについて幅広く理解するとともに、書写能力の向上を図り、書の伝統に基づき、効果的に表現するための基礎的な技能を身に付けるようにする。	書のよさや美しさを感受し、意図に基づいて構想し表現を工夫したり、作品や書の伝統と文化の意味や価値を考え、書的美を味わい捉えたりすることができるようにする。	主体的に書の幅広い活動に取り組み、生涯にわたり書を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、書の伝統と文化に親しみ、書を通して心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	表現			評価規準	知	思	意	記 時 数
		漢	仮	仮					
1 学期	漢字の書（楷・行・草書） 【知識及び技能】 ・時代の変化に合わせた表現の特質をつかみ、楷・行・草書体の古典作品を臨書して書風に即した用筆や運筆の技法を身に付けさせる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・一年次の復習するとともに、古典作品を臨書し、異なる表現や時代の変化による表現の多様化を理解させる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・楷・行・草書作品の鑑賞を通じて、自己の表現力を養う。	漢字の書（楷・行・草）の臨書・鑑賞 プリント、水書板による運筆の解説 机間巡視による指導							8
	漢字の書（隷・篆書） 【知識及び技能】 ・隷・篆書体の古典作品を臨書し、特徴や書風に即した用筆や運筆の技法を理解させ、身に付けさせる。 ・それぞれの書体の系統を学び、他の書体と結びつけながら書の成立の背景を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・既に学習した他の書体と比較しながら、異なる表現や時代の変化による表現の多様化を理解させる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・隷・篆書作品の鑑賞を通じて、自己の表現力を養う。	漢字の書（隷・篆）の臨書・鑑賞 プリントや作品例による表現方法の解説 机間巡視による指導							8
2 学期	篆刻 【知識及び技能】 篆刻の歴史や用具用材、手順を理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・篆刻の表現形式に応じて、全体の構成を工夫し、個性を生かした表現力を身に付けさせる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・漢字の書の学習を生かし、書を立体化することによる刻線のよさや美しさを理解させる。	・篆刻 プリントによる手順や用具用材の使用解説 机間巡視による指導							10
	漢字仮名交じりの書 【知識及び技能】 漢字、仮名の古典それぞれの特徴を理解し、それに応じた表現と用具用材の関係を理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 漢字と仮名の調和した字形、文字の大きさ、全体の構成、目的や意図に基づいた表現力を身に付けさせる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・他者作品の鑑賞を通じて、感性を高め、自己の表現力も養う。	漢字仮名交じりの書の創作・他生徒作品の鑑賞・意見交換 現代の書の鑑賞をさせ、創作の表現方法の効果について解説 プリントによる用具用材の表現効果について解説							12
3 学期	漢字の書（創作） 【知識及び技能】 ・学習してきた古典の用筆や運筆を理解し、それに基づく効果的な表現を身に付けさせる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・自己の意図に応じて古典の特徴を生かした表現について構想し、表現形式に応じて全体の構成を工夫させる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・他者作品の鑑賞を通じて、感性を高め、自己の表現力も養う。	・漢字の書の創作・鑑賞 プリント、水書板による運筆の解説 机間巡視による指導							8
	硬筆 【知識及び技能】 日常の書（はがき、手紙）の書き方を学習し、硬筆の技能を身に付けさせる。 ・著作権について学習し、引用する場合の方法や注意点を身に付けさせる。 【思考力、判断力、表現力等】 生活や社会における書の効用について理解させる。 【学びに向かう力、人間性等】 日常に生かそうと意図的に取り組む姿勢を育むとともに、自己の表現力にもつなげる。	はがき、手紙 ・漢字の書き順についての指導 ・ワークシート プリントによる解説 授業中での添削							6 合計 52

高等学校 令和5年度（3学年用） 教科 芸術 科目 書道Ⅲ

教科：芸術 科目：書道Ⅲ 単位数：2 単位  
 対象学年組：第3学年 A組～B組  
 教科担当者：今泉 咲季  
 使用教科書：（東京書籍 書道Ⅰ）

教科 芸術 の目標：  
 【知識及び技能】芸術に関する各科目の特質について理解するとともに、意図に基づいて表現するための技能を身に付けるよう  
 【思考力、判断力、表現力等】創造的な表現を工夫したり、芸術のよさや美しさを深く味わったりすることができるようにする。  
 【学びに向かう力、人間性等】生涯にわたり芸術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、心豊かな生活や社会を創造するという態度を養  
 科目 書道Ⅲ の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
書の表現の方法や形式、多様性などについて幅広く理解するとともに、書写能力の向上を図り、書の伝統に基づき、効果的に表現するための基礎的な技能を身に付けるようにする。	書のよさや美しさを感じ、意図に基づいて構想し表現を工夫したり、作品や書の伝統と文化の意味や価値を考え、書の美を味わい捉えたりすることができるようにする。	主体的に書の幅広い活動に取り組み、生涯にわたり書を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、書の伝統と文化に親しみ、書を通して心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	表現			鑑賞	評価規準	知	思	態	配 当 時 数
		漢	仮	漢						
漢字の書（楷書・行書） 【知識及び技能】 ・中国と日本の多様な古典作品を臨書し、各古典作品ごとの特徴を理解させ、書き分ける技術を身に付けさせる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・歴史に基づく書の発展を学習し、背景を踏まえた表現の工夫をさせる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・中国と日本の古典作品の鑑賞を通じて、自己の表現力を養う。	漢字の書（楷書・行書）の臨書・鑑賞 半切に臨書作品を制作 プリント、水書板による運筆の解説 机間巡視による指導	○			○	各時間の課題作品、ワークシート、授業態度 古典に基づく基本的な用筆・運筆の技能を身に付けている。 古典の書体や書風に即した用筆・運筆、字形、全体の構成について構想し工夫している。 主体的に漢字の書の幅広い表現の学習活動に取り組もうとしている。 古典の造形美や時代が要求した書体の特徴などを深く理解している。 作品や書の意味や価値について考えながら、幅広い鑑賞の学習に取り組もうとしている。	○	○	○	10
漢字の書（草書・隷書・篆書） 【知識及び技能】 ・中国と日本の多様な古典作品を臨書し、各古典作品ごとの特徴を理解させ、書き分ける技術を身に付けさせる。 ・それぞれの書体の系統を学び、他の書体と結びつけながら書の成立の背景を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・歴史に基づく書の発展を学習し、背景を踏まえた表現の工夫をさせる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・中国と日本の古典作品の鑑賞を通じて、自己の表現力を養う。	漢字の書（草書・隷書・篆書）の臨書・鑑賞 半切に臨書作品を制作 プリント、水書板による運筆の解説 机間巡視による指導		○		○	各時間の課題作品、ワークシート、授業態度 古典に基づく基本的な用筆・運筆の技能を身に付けている。 古典の書体や書風に即した用筆・運筆、字形、全体の構成について構想し工夫している。 主体的に漢字の書の幅広い表現の学習活動に取り組もうとしている。 古典の造形美や時代が要求した書体の特徴などを深く理解している。 作品や書の意味や価値について考えながら、幅広い鑑賞の学習に取り組もうとしている。	○	○	○	17
仮名の書 【知識及び技能】 ・仮名の古典の特徴を理解し、書風に即した用筆や運筆の技法を身に付けさせる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・変体仮名、散らし書きの古典作品を臨書し、変体仮名、散らし書きの表現を理解させる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・仮名作品の鑑賞を通じて、自己の表現力を養う。	仮名の書の臨書・創作・鑑賞 プリント、水書板による運筆の解説 机間巡視による指導			○	○	・各時間の課題作品、ワークシート、授業態度 古典の書風に即した用筆・運筆、字形、全体の構成について理解している。 古典に基づく基本的な用筆・運筆の技能を身に付けている。 古典の書体や書風に即した用筆・運筆、字形、全体の構成について構想し工夫している。 仮名の美の特徴などを分析的に理解し、その表現効果や美しさを感じ取っている。 他者作品の表現方法や形式などについて理解を深めている。	○	○	○	10
漢字仮名交じりの書 【知識及び技能】 ・用具・用材の特徴と表現効果の関わり、名筆や現代の書の表現と用筆・運筆との関わりについて理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・漢字と仮名の調和した字形、文字の大きさ、全体の構成、目的や意図に基づいた表現力を身に付けさせる。	・漢字仮名交じりの書の創作・鑑賞 現代の書の鑑賞をさせ、創作の表現方法の効果について解説	○			○	創作作品、ワークシート、授業態度 目的や用途に即した効果的な表現や、漢字と仮名の調和した線質による表現の工夫をしている。 目的や用途に即した表現形式、意図に基づいた表現、名筆を生かした表現や現代に生きる表現について構想し工夫している。 作品や書の意味や価値について考えながら、幅広い鑑賞の学習に取り組もうとしている。	○	○	○	18
硬筆 【知識及び技能】 ・日常の書（はがき、手紙）の書き方を学習し、硬筆の技能を身に付けさせる。 ・著作権について学習し、引用する場合の方法や注意点を身に付けさせる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・生活や社会における書の効用について理解させる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・日常に生かそうと意欲的に取り組む姿勢を育むとともに、自己の表現力にもつなげる。	はがき、手紙 ・漢字の書き順についての指導 ・ワークシート プリントによる解説 授業中での添削				○	・ワークシート、授業態度 書式による書き方の違いや毛筆と硬筆での表現方法の違いを理解している。 著作権について理解している。 硬筆技能の向上に向けて主体的に学習に取り組もうとしている。	○	○	○	7
合計										62















